

（仕様書別紙1） 令和8年度 離職者等再就職訓練 訓練実施計画表

コース番号	種別※	訓練分野	訓練科名 （仮称※提案可能）	習得する知識・技能等	訓練開講月	訓練		訓練期間 （月数）	人		訓練実施方法 【通所/オンライン/eラーニング】
						開始日	修了日		定員	託児定員	
401	長期	介護	介護福祉科	適切な介護サービスを提供するために必要な知識、技能を有する介護福祉士の養成をはかる実学訓練。厚生労働大臣が指定した介護福祉士の養成課程を履修し、介護福祉士の資格取得を目指す。	4月	R8.4月	R10.3月	24	7		通所
402			プロポーザル未実施								
403	知識 デジタル・DX併用	情報	WEBクリエイター実践科 【WEB資格】	ホームページ作成及びWEBプログラミングに関する技術を習得し、WEBデザイン関係の資格取得を目指す。 ※訓練内容の追加提案は可能	5月	5月1日	9月30日	5	18		通所
404	知識	情報	ビジネスPC科 （育児等両立支援）	ワード、エクセルなどのパソコン操作を習得し、MOS等の関連資格取得を目指す。 ※訓練内容の追加提案は可能 小学校6年生までの子がいる方、介護中の方などを主な対象とした、他コースより1日の訓練時間が短い（4時間程度）育児等との両立に配慮したコース。	6月	6月1日	8月31日	3	16		通所
405	知識	事務	医療事務科	医療機関における保険請求業務の知識・技能を習得し、医療事務に関する資格試験の合格を目指す。 ※訓練内容の追加提案は可能	7月	7月1日	8月31日	2	16		通所
406	知識	サービス	不動産ビジネス科	不動産取引に関する知識及び顧客に対して資産設計等の適切なアドバイスを行うことができる知識を習得し、宅地建物取引士試験及び不動産系関連資格（賃貸不動産経営管理士、FP技能検定3級等）の合格を目指す。 ※訓練内容の追加提案は可能	7月	7月1日	11月30日	5	18		通所
407	知識	事務	簿記3級科（育児等両立支援）	パソコン操作の基礎及び簿記の知識を習得し、日商簿記検定試験3級等の合格を目指す。※訓練内容の追加提案は可能 小学校6年生までの子がいる方、介護中の方などを主な対象とした、他コースより1日の訓練時間が短い（4時間程度）育児等との両立に配慮したコース。	8月	8月3日	10月30日	3	16		通所
408	知識	情報	ビジネスPC科 （育児等両立支援）	ワード、エクセルなどのパソコン操作を習得し、MOS等の関連資格取得を目指す。 ※訓練内容の追加提案は可能 小学校6年生までの子がいる方、介護中の方などを主な対象とした、他コースより1日の訓練時間が短い（4時間程度）育児等との両立に配慮したコース。	9月	9月1日	11月30日	3	16		通所
409	知識	事務	医療事務・オペレータ科	医療機関における保険請求業務の知識・技能を習得し、医療事務に関する資格試験の合格を目指す。また医療機関で使用されるレセプトコンピュータの操作方法を習得する。※訓練内容の追加提案は可能	10月	10月1日	12月24日	3	16		通所
410	知識	事務	簿記2級科	パソコン操作の基礎及び企業会計事務に必要な商業簿記から工業簿記までの知識を習得し、日商簿記検定試験2級等の合格を目指す。※訓練内容の追加提案は可能	11月	11月2日	2月26日	4	16		通所
411	知識	情報	ビジネスPC ・ホームページ入門科（託児付）	ワード、エクセル、パワーポイントなどのパソコン操作及びホームページの更新技術を習得し、MOS等の関連資格取得を目指す。※訓練内容の追加提案は可能	12月	12月1日	3月26日	4	16	3	通所
412	知識	建設	フォークリフト・クレーン ・玉掛け技能科【建設人材】	フォークリフトの操作・運転業務に就くための技能・知識及びつり上げ荷重1トン以上5トン未満の移動式クレーンの運転業務及びつり上げ荷重1トン以上のクレーン又は移動式クレーンで行う玉掛け業務に就くための技能・知識、関係法令等に係る知識を習得する。労働安全衛生法に基づくフォークリフト運転技能講習修了証及び小型移動式クレーン運転技能講習修了証及び玉掛け技能講習修了証の取得を目指す。また、パソコンの基礎的な操作方法を学ぶ。 ※訓練内容の追加提案は可能	12月	12月1日	1月29日	2	10		通所
413	知識	事務	医療事務科	医療機関における保険請求業務の知識・技能を習得し、医療事務に関する資格試験の合格を目指す。 ※訓練内容の追加提案は可能	2月	2月1日	3月26日	2	16		通所

※種別	知識	知識等習得コース
	デジタル・DX併用	知識等習得コースのうち、デジタル資格コースとDX推進スキル標準対応コースを併用するコース（特例）
	建設	建設人材育成コース
	長期	長期高度人材育成コース

※受講指示者の認定日及び支援支持者の指定来所日については、当学院がハローワークと協議の上、指定する。